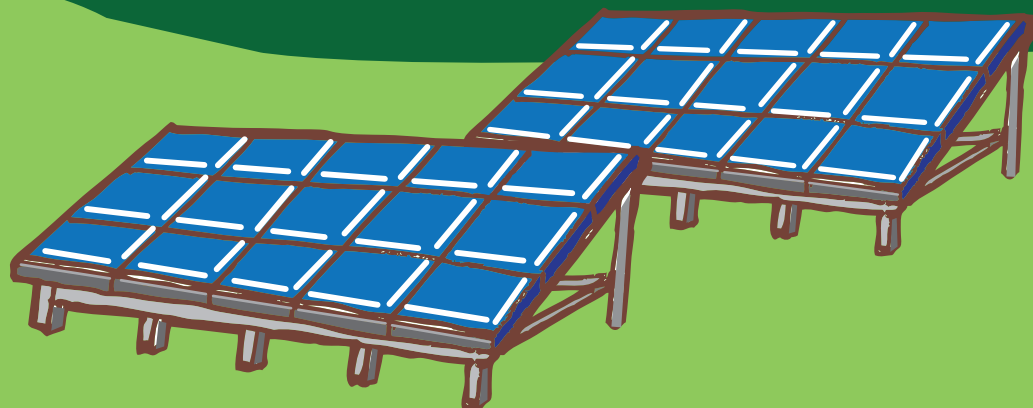
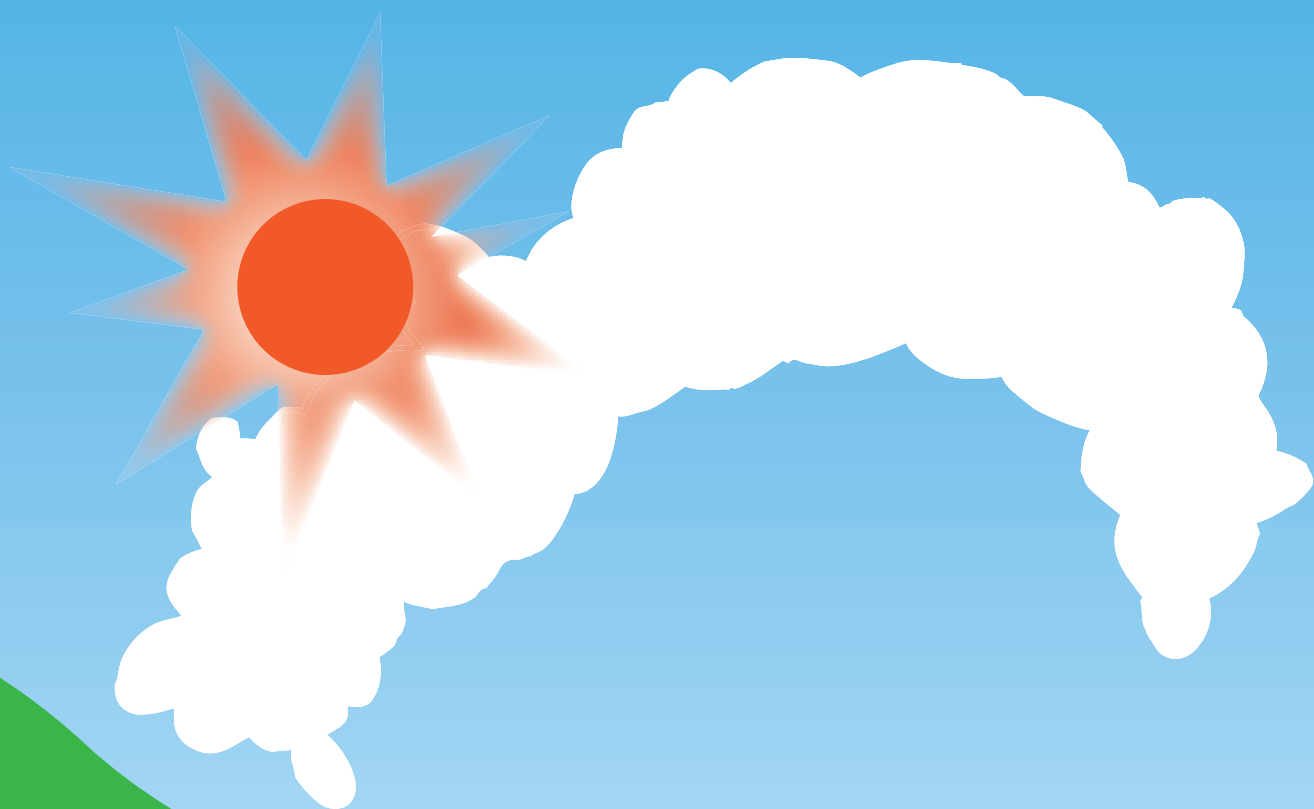
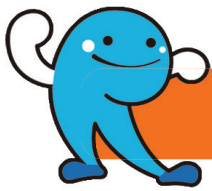


太陽光発電って？



高知県





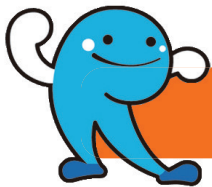
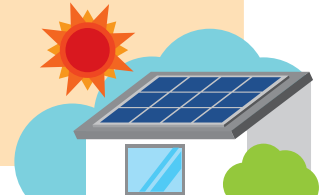
Q1 太陽光発電は何がよいのですか？

A1

太陽光発電は、太陽の光さえあれば発電できるため、エネルギー資源が少ない日本にとっては、重要なエネルギー資源です。

大規模な設備でなくても発電できることから、住宅の屋根に設置して発電することもできます。

また、太陽光による発電は、二酸化炭素がほとんど発生しないことから、地球温暖化対策にもなり、発電された電気はクリーンなエネルギーとも言われています。



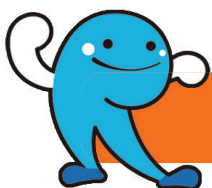
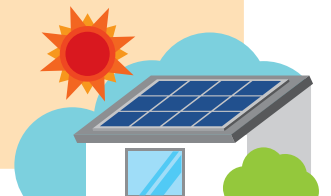
Q2 どうして太陽光で電気がつくれるのですか？

A2

太陽光パネルは、小さな太陽電池がたくさん集まって出来ています。太陽電池は、2種類の半導体を合わせて出来ています。ここに光が当たると電気が流れます。

このため、太陽光パネルに太陽光が当たると発電を行うことができます。

※半導体とは、そのままでは電気は通しませんが、条件が整ったときに電気を流す性質を持った物質です。

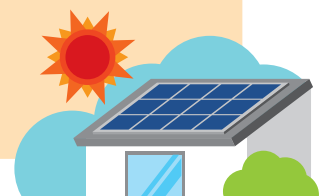


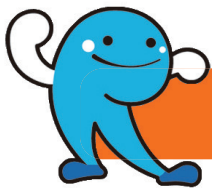
Q3 発電しているときに有害なものが出たりしませんか？

A3

発電する際に太陽光パネルから有害なものが出てきたり、発生することはありません。

ただし、太陽光パネルが割れるなど、破損した場合には、パネルに人体に有害な物質が含まれていたり、感電などの危険があるので、むやみに触れずに専門業者に対応をお願いする必要があります。



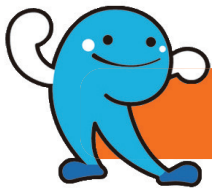
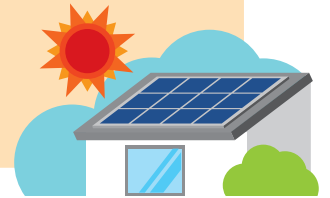


Q4 太陽光パネルに触れたら感電したりしませんか？

A4

通常設置している太陽光パネルに触れるだけでは、感電することはありません。

ただし、太陽光が当たっている時は、常に発電しているので、破損や故障している場合や豪雨等により浸水している場合などは感電する恐れがあるため、近づかないようにしてください。

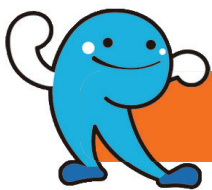
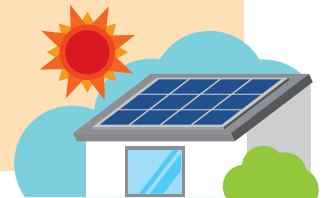


Q5 太陽光パネルは割れたり壊れたりしませんか？

A5

太陽光パネルは、強化ガラスで保護されているので、普段設置している状況では、割れることはありません。

しかし、上から重いものや堅いものが落下してきた場合や、台風や地震などの際には、暴風や土砂崩れなどで破損することがあります。そうした場合は、感電の恐れがあるため、近づかないようにしてください。



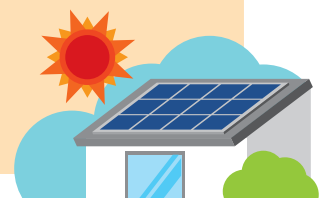
Q6 太陽光パネルはいつまでも使えるのですか？

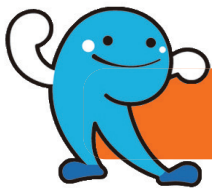
A6

太陽光パネル自体の寿命は、発電量は減少しますが、一般的に20年から30年とされています。

特に故障などが発生しないかぎり、メンテナンスの必要もあまりないと言われています。

また、太陽光パネルと一緒に設置が必要となる、発電した電気を一般的に使用できるようにするパワーコンディショナーの寿命は、10年から15年とされています。





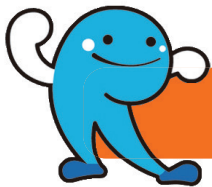
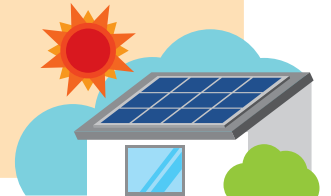
Q7 使わなくなった太陽光パネルはどう処理したら良いのですか？

A7

使わなくなった太陽光パネルは、基本的には専門業者に依頼し、適切に廃棄処理を行う必要があります。

住宅に設置している太陽光パネルを、住宅の所有者が自らとりはずして廃棄する場合には、お住まいの市町村や専門業者に依頼して、廃棄処理を行う必要があります。

廃棄処理される太陽光パネルは、解体され、再利用できる部分はリサイクルされることになります。



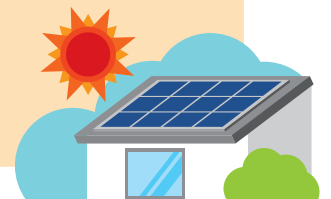
Q8 太陽光発電をしたらどんなメリットがあるのですか？

A8

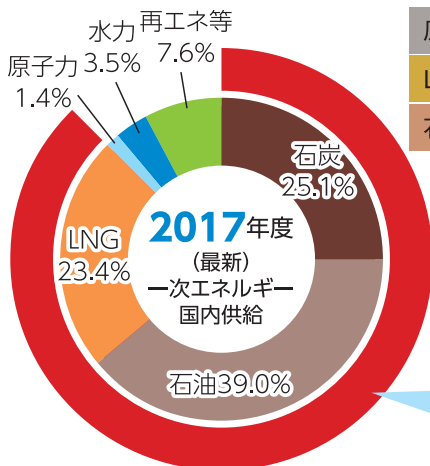
太陽光発電は、クリーンなエネルギーと言われており、二酸化炭素をほとんど出さないことから地球温暖化対策にも貢献できる環境に優しい発電方法です。

また、住宅やビルに設置した太陽光パネルで発電した電気をその建物で使うことで、電気代の節約ができたり、電力会社に電気を売ることによって副収入を得るなど経済的なメリットを得ることもできます。

ほかにも自立運転機能があれば、災害時に停電したときでも太陽光パネルで発電した電気を使うことができるので、災害時の備えにもなります。



日本のエネルギー構成



化石燃料海外依存度

原油	99.7%
LNG(天然ガス)	97.5%
石炭	99.3%

2017年度
化石燃料依存度
※一次エネルギー供給ベース

87.4%

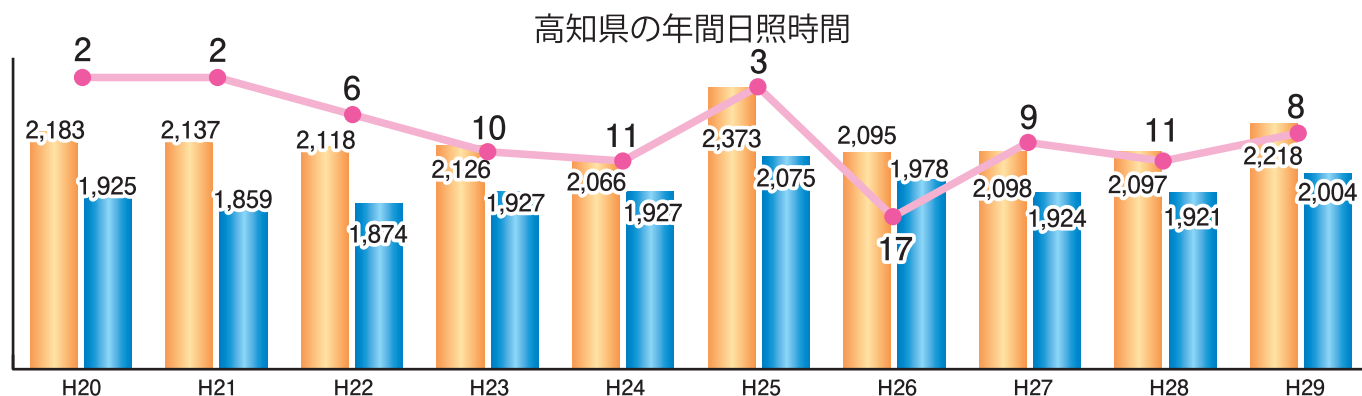
○日本は石油や天然ガス(LNG)などの化石燃料への依存度が高く、そのほとんどを輸入に頼っており、エネルギー自給率は低くなっています。

※2017年の自給率:9.6%(OECD諸国(35カ国中)34位)

○日本のエネルギー自給率を高め、地球温暖化を緩和するためにも再生可能なエネルギーをもっと増やしていくことが大切です。

高知県の状況

日照時間

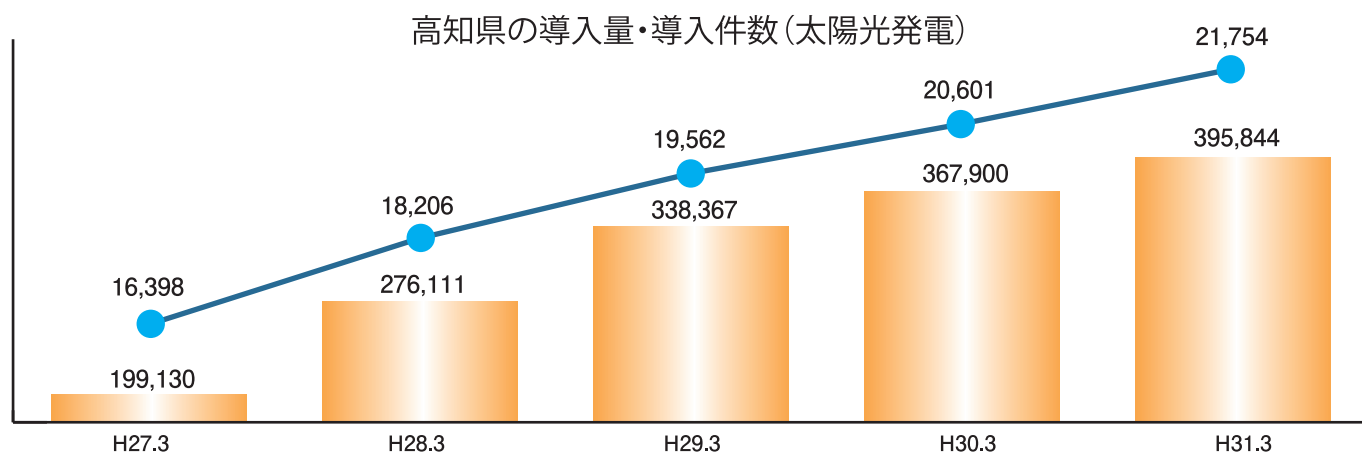


出典：統計でみる都道府県のすがた (H23は日本統計年鑑)

■ 高知県 ■ 全国平均 ● 全国順位

高知県は、全国と比べて、年間の日照時間が長く、全国順位も上位にあります。

太陽光発電の導入量・導入件数の推移



出典：資源エネルギー庁公表資料

■ 導入量 (kW) ● 導入件数 (件)

近年、増加が緩やかになってきていますが、順調に推移しています。

新エネルギーの導入方針 (地域との共生)

高知県は、日照時間が長いだけでなく、年間降水量も全国に比べて多く、山間部や室戸岬、足摺岬周辺では風況も比較的良いことや森林率が日本一など新エネルギーの導入に適した地域特性を持っています。

このような地域特性を最大限に生かし、新エネルギーの導入を進めていくため、「高知県新エネルギービジョン」を策定し、“高知県産100%！自然エネルギーあふれる「こうち」の創造”をキャッチフレーズに、「持続可能なエネルギーの活用」「地域メリットの創出」「地球温暖化対策への貢献」の考え方のもと、地域資源から得られるエネルギーを活用して、将来にわたって活気あふれる元気な高知県になることを目指しています。

また、高知県では、新エネルギーの導入を進めていくためには、地域の皆さんの理解と協力が不可欠であり、新エネルギーの導入は、「地域との共生」があってこそ成り立つものだと考えています。地域の方々へ新エネルギーへの理解を深めていただき、地域の方々と共に新エネルギーの導入を進めていきたいと考えています。



高知県 林業振興・環境部 新エネルギー推進課

〒780-0850 高知市丸ノ内 1 丁目 7-52

TEL 088-821-4538

FAX 088-821-4530

E-mail : 030901@ken.pref.kochi.lg.jp

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030901/>

